



新国民運動・官民連携協議会 第3回会合

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」

令和5年1月27日（金）



【議事次第】 1月27日（金） 10時00分～ オンライン

- 1. 新規のご提案・意見等の内容のご紹介**
- 2. 前回までのご提案等を受けての対応、政策情報のご共有**
- 3. 質疑応答・意見交換 [参加の皆様]**
- 4. その他：次回予告（第4回協議会）**

【第3回の到達点のイメージ】

- (1) 新規提案プロジェクトやご意見の内容、既存プロジェクトの進捗等を確認し、意見交換・擦り合わせを通じて連携を加速、更なる提案に向けた参考とする
- (2) 新たに設定するスモールグループの運用方針を確認し、意見交換・擦り合わせを通じて議論の活性化、活用につなげる
- (3) 今後のキャンペーンの動き等を確認し、意見交換・擦り合わせにより今後の連携・協力につなげる
- (4) その他、協議会全般に渡る質疑応答、意見交換を通じた理解・連携の深化

連携実践プロジェクト (1/4)



- イオングループ提案プロジェクトについてご共有(取組の具体的な日程/場所が確定)
- 参画にご関心がある場合は、2/3迄に事務局へご連絡ください

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象

取組のテーマ



「場・機会」

具体的な場

日程

商業施設において脱炭素につながる
ライフスタイルを総合的に発信し
行動変容につなげる

- 断熱等の住宅・建材に係る
商材やEV等の具体的な
商品やサービスを体感いただく

イオンモール堺北花田

- サステナブル製品やEV、住宅
設備など、脱炭素につながる
商品・サービスを体感できるリア
ルな場と機会を提供。
(ECサイトやアプリでの紹介も
検討)
- 200㎡程度のイベント会場を
想定

23年2月
25-26日



「取組主体」 / 「製品・サービス」

取組主体 (想定)

製品・サービス 等取組内容

イオングループ

住宅メーカー等

省エネ家電/省エネリフォーム

自動車メーカー

電気自動車

地域の生産者

地産地消の産品

食品メーカー等

食肉代替食品等

再生素材、脱プラパッケージ等の
環境配慮型商品

食品ロス削減につながる消費行動の価値の実感

アパレル関連

機能性インナーや寝具等、ウォームビズ・クールビズ対応商品

オーガニックコットンやリサイクル素材などを使ったエシカルファッション

洋服等のお直し・リペア、リメイクサービス

住宅の
断熱等

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/2/3まで)

連携実践プロジェクト (2/4)

- 連携に向けた各プロジェクトの内容確認、擦り合わせは、本日までご議論いただければ幸いです
- その上で、他団体との連携を募っている案件への参画にご関心ある場合は、事務局までご連絡ください

■ : ご提案者 □ : 連携募集対象

取組のテーマ

ポイントを活用した、インセンティブ付与による消費者の行動変容促進 (グリーンライフポイント事業の拡大)

- 消費者の方々が気軽に環境配慮行動に取り組めるような仕組みの提供
- 環境にやさしい取り組みを行う企業・自治体とのパートナーシップによる情報発信

インセンティブ

地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用

- 地方自治体とのアライアンスを組み、地域ごとに実施

＝ 「場・機会」

具体的な場

au Ponta ポータル
au × Ponta グリーンライフポイント (auone.jp)



日程

23年4月～

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

(順不同)

取組主体 (想定)

製品・サービス 等取組内容

KDDI

企業

自治体

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/2/28まで、以降随時)

ポータルサイトにて、環境にやさしい製品・サービスを提供するauPAY加盟店 (外食店・小売店・EC等) の取り組みの紹介と、導線を提供。また、消費者の環境に配慮した消費行動に対し、ポイントを付与

自治体
(脱炭素先行地域など)

KDDIの提供するポイント基盤

23年4月～

KDDI

自治体
(脱炭素先行地域など)

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/2/28まで、以降随時)

自治体が住民・旅行者などへ促進したい環境配慮行動へ、ポイントを付与する施策を共同で検討・提供

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

(順不同)

具体的な場

日程

取組主体 (想定)

製品・サービス 等取組内容

インセンティブ

従業員の行動によるCO2排出削減量を可視化し、複数企業で成果を出すことで、「従業員の行動変容の重要性」を社会に発信し、機運醸成を目指す

従業員の行動可視化キャンペーン (トライアル) 3/31まで

イノベーションズ

企業

団体

国・他自治体

「行動可視化アプリ」をお持ちの企業や、そういったアプリを活用して、自社の従業員の教育/啓蒙を実施したい企業との合同キャンペーンを呼び掛けたい
(CO2見える化の方法等については皆さまのご意見を踏まえて決めていきたい)

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/2月末まで)

インセンティブ

従業員が環境行動を登録しCO2排出・削減量を可視化するアプリを用いて、企業として従業員の行動変容を促し、環境社会実現を目指す。また、企業が社外に発信することで、環境問題に取り組む企業としての認知向上にも寄与する。

従業員の環境への意識向上・行動変容を促すアプリ「グリーンプログラム for Employee」

随時

NTTコミュニケーションズ

企業

自治体

企業として従業員の環境意識を向上/行動変容を促したい企業への参画を呼び掛けるもの

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください

XX : ご提案者 XX : 連携募集対象

(順不同)

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

脱炭素への興味関心が薄い層に対して、SDGsへの認知や興味を広げるための啓発イベントを行うことで、消費者の「脱炭素への共感」を促すことを目指す

- 主に都市在住の余裕のあるファミリー層にフォーカスし、SDGsに積極的に取組む層の裾野を広げていく

具体的な場

- 「脱炭素への共感」を促すための
- 「ピースフォーアース」脱炭素に関するサービスを直接体験できるイベント
 - 「ピースフォーアース・コミュニティ」脱炭素への共感を定着・拡大させるためのコミュニティ形成（Webメディアとの連携を含む）
 - 「SDGs1年生検定」SDGsの概念をイラスト&ストーリーで理解できる子ども向け検定

日程

23年2月
25～26日
等
(銀座三越
でイベントを
開催)

取組主体 (想定)

フォーエヴァーグリーン

企業

団体

国・他自治体

製品・サービス 等取組内容

銀座三越内「銀座テラス」でのエキスポ型のイベントを通じて、都市ファミリー層に対して、脱炭素に向けたライフスタイル転換の発信をされたい企業/団体/自治体を募るもの

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/2/9まで)

政策/協議会の運営へのご意見【予算措置・制度改革】

- ご意見のうち、予算措置・制度改革は16件頂いており、内訳は下記のとおり。
- 今後、個別に詳細をヒアリングさせていただき、対応を検討させていただきます

分類	カテゴリー	件数	サマリ
予算措置	(6)インセンティブ付与(GLP等)・効果的な情報発信(ナッジ)	1	地域が独自行うポイント事業について、ポイント原資の補助必要
制度改革	(2)住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン	3	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン等が乱立しているため、一元化してほしい ・新築住宅の省エネルギー基準の速やかな引き上げをすべき ・省エネ化キャンペーンを周知する仕組み(特設サイト等)を希望
	(3)服装・サステナブルファッション	1	協議会として、国内商品推進等の地産地消も重視すべき
	(4)デジタルワーク	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の労働基準法が導入の足かせになる部分がある ・育児休暇のように、ワーケーションを取れる制度化・仕組みづくりをすべき
	(5)連携実践プロジェクト・普及啓発キャンペーン	2	・免許取得・更新時にエコドライブの普及啓発をすべき 等
	(6)インセンティブ付与(GLP等)・効果的な情報発信(ナッジ)	1	・ポイント制度は多様なプラットフォームが乗れる形にすべき
	(7)地域独自の豊かな暮らし	1	・首都圏一極集中を是正する施策を実施すべき
	(8)その他の施策	1	・環境教育の強化や、ゴミの分別収集の徹底をすべき
	(9)協議会運営	2	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の規模では議論が難しい為、分科会を設定すべき ・横の意見交換ができるようなプラットフォームを整備すべき
	(10)国民運動全般	2	・民間の可視化ツールを公認化し、データを収集・開示すべき 等

政策/協議会の運営へのご意見【その他】

- ご意見のうち予算措置、制度改正以外は29件を頂いており、内訳は下記のとおり。
- 今後、個別に詳細をヒアリングさせていただき、対応を検討させていただきます

分類	カテゴリー	件数	サマリ
その他	(2)住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン	2	<ul style="list-style-type: none"> ・国が先導して、消費者向けにメディアを使った周知活動を実施すべき ・環境負荷の少ない断熱材が知りたい
	(4)デジタルワーク	3	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設に無償のワーキングスペースを設置し、地元の方と交流できるようにしてはどうか ・デジタルワーク、ワーケーションの脱炭素効果について発信すべき 等
	(5)連携実践プロジェクト・普及啓発キャンペーン	3	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージキャラクター・インフルエンサー等の影響力のある人との連携をすすめてはどうか ・自動車販売等で、正しい環境知識を持った販売員を認定する脱炭素マイスター制度を推進してはどうか 等
	(6)インセンティブ付与(GLP等)・効果的な情報発信(ナッジ)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・店などにより広くポイント制度を取り入れてもらえるよう、インセンティブを強化するべき ・カーボンオフセット旅行に関する、効果的なインセンティブの設定や発信方法についてサポートしてほしい 等
	(7)地域独自の豊かな暮らし	1	学校と地域農家等が連携して残飯のコンポスト化等を実施し、資源循環について教育すべき
	(8)その他の施策	6	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮行動が受け入れられる文化の浸透を目指すべき ・参画団体に脱炭素製品を使ってもらっただけでなく、一般に脱炭素製品が普及する方法を議論すべき ・政府、地方自治体、企業、団体、学生、市民等が意見交換する会議を日本各地で行うべき ・著名人やメディアを活用して、なぜ脱炭素が必要なのか訴求すべき ・宅配を1回で受け取ることでCO2削減につながる、というような前向きな行動を国民運動として実施すべき 等
	(9)協議会運営	3	Webサイト等で各企業の取組が分かるようにすべき 等
	(10)国民運動全般	8	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会は誰が中心となって進めていくのかが分かりにくい ・提案をオンラインで登録できるシステムにしてほしい ・参画団体のコラボを促進するための仕組みづくりが必要ではないか ・協議会の活動内容をアピールしていきたい 等

脱炭素につながる製品・サービス等の取組 (1/3)

- 脱炭素につながる製品・サービスの取組については、53件のご提案を頂いている。
- いただいたご提案については、協議会会員の皆様への共有やHPの掲載等を通じ、情報発信を行ってまいります
- また、様々な製品・サービス、場の機会のご紹介があるため、皆様の連携先の検討に活用いただければ幸いです
環境省/事務局としても、会員同士のマッチングを積極的に実施していきますので、お気軽にご連絡ください

カテゴリー	分類	件数	類型	
(1) 応援拠点(体験・体感の場)	参画団体との連携に関する事項	3	自団体が保有する「製品/サービス」もしくは「機会・場」について、他の参画団体との連携を念頭に置いた取組 等	
	個別取組に関する事項	具体イベントに関する事項	3	自団体が企画するイベントのご紹介 等
		その他の発信機会に関する事項	12	「機会・場」についてのご登録 等
	その他	5	自団体の取組紹介 等	
(2) 住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン	参画団体との連携に関する事項	1	自団体が保有する「製品/サービス」もしくは「機会・場」について、他の参画団体との連携を念頭に置いた取組	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	6	自団体の補助制度のご紹介 等
		情報発信に関する事項	9	情報発信に係るツール、場などのご登録 等
	その他	-	-	

脱炭素につながる製品・サービス等の取組 (2/3)

カテゴリー	分類	件数	類型	
(3) 服装・サステナブルファッション	参画団体との連携に関する事項	1	自団体が保有する「製品/サービス」もしくは「機会・場」について、他の参画団体との連携を念頭に置いた取組	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	1	クールビズ・ウォームビズに関する取組
		情報発信に関する事項	—	—
	その他	1	服装の自由化を推進しているといった自団体での活動紹介	
(4) デジタルワーク	参画団体との連携に関する事項	—	—	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	3	テレワークに係る関連サービスの提供 等
		情報発信に関する事項	—	—
	その他	—	—	
(5) 連携実践プロジェクト・普及啓発キャンペーン	参画団体との連携に関する事項	2	自団体が保有する「製品/サービス」もしくは「機会・場」について、他の参画団体との連携を念頭に置いた取組 等	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	—	—
		情報発信に関する事項	1	自団体での取組のご紹介
	その他	—	—	

脱炭素につながる製品・サービス等の取組 (3/3)



カテゴリー	分類	件数	類型	
(6)インセンティブ付与(グリーンライフポイント等)・効果的な情報発信(ナッジ)	参画団体との連携に関する事項	1	自団体が保有する「製品/サービス」もしくは「機会・場」について、他の参画団体との連携を念頭に置いた取組	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	3	インセンティブを活用したライフスタイル転換への取組 等
		情報発信に関する事項	-	-
	その他	-	-	
(8)その他の施策	参画団体との連携に関する事項	-	-	
	個別取組に関する事項	製品サービスに関する事項	1	自社サービスの紹介
		情報発信に関する事項	-	-
	その他	-	-	

スモールグループの立ち上げ

- スモールグループについては皆様へのアンケート結果に基づき、まずは12テーマで設定し、2月中旬を目途に議論を開始する予定です
- スモールグループへの参加の希望や新規テーマ設定については、常時受け付けておりますので、事務局までお気軽にご連絡ください
- スモールグループでの議論活発化のため、デジタルツールとして双方向性を持ったSlackを提供します

スモールグループリスト

テーマ	希望者数(名)
①. 住宅	47
②. インセンティブ/ポイント (グリーンライフポイント)	32
③. モビリティ	30
④. 食	25
⑤. 宅配/通販	12
⑥. サステナブルファッション	4
⑦. 教育	3
⑧. CO2見える化	3
⑨. プラスチック	2
⑩. 廃棄物	2
⑪. 生物多様性	1
⑫. ワークेशन	1

Slackの概要

- 参画団体間での双方向のコミュニケーションツール
- 基本はパブリックチャンネル (誰でも入れるチャンネル) として設定
- スモールグループのテーマ毎に別途チャンネルを立ち上げ予定

➡ 運用ルール・登録フローの詳細は後日メールにてご連絡させていただきます

「新しい豊かな暮らし」に向けた個別アクション

第2弾

スイッチを消してお出かけ省エネ・節電キャンペーン

- 個別アクション第2弾として、“スイッチを消してお出かけ省エネ・節電キャンペーン”を推進します
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業、地域で旗を振られる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って手上げをお願いします

「スイッチを消してお出かけ省エネ・節電」とは

- 家庭の冷暖房、照明を切って、まちに出てお店で買い物や食事等を行うことで、楽しみながら、エネルギー消費を減らせます

事例のご紹介：東急（株）が実施する
「東急沿線お出かけ節電プロジェクト「OFF&GO」アクション」

省エネと今冬の節電を楽しい取組とするため、東急グループの商業施設145店舗で使えるクーポンを提供して、家の電気をOFF→お出かけへGOを提案



1/25には、渋谷ヒカリエでの取組を西村環境大臣が視察いたしました



クールビズ×サステナブルファッション、熱中症予防キャンペーン（5月～）

- 本年5月以降に、①クールビズ×サステナブルファッション、②熱中症予防に向けたキャンペーンを順次展開することを考えています
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業、地域で旗を振られる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って手上げをお願いします

①クールビズ×サステナブルファッション

- クールビズに、衣類のリサイクル/アップサイクル等、ひとつの衣服を長く活用するサステナブルファッションを併せ、新たな夏の装い創出につなげていきます
 - クールビズを軽装励行を超えた、TPOに応じた服装の自由化につなげていきます
 - サステナブルファッションの浸透促進により、大量生産・大量消費型から廃棄を少なくする循環型への移行を推進します



②熱中症予防

- 夏場の熱中症増加に備え、広く熱中症予防の必要性と重要性を呼びかけていきます
- 熱中症予防につながる「機会・場」や「製品・サービス」のご提案をお願いいたします



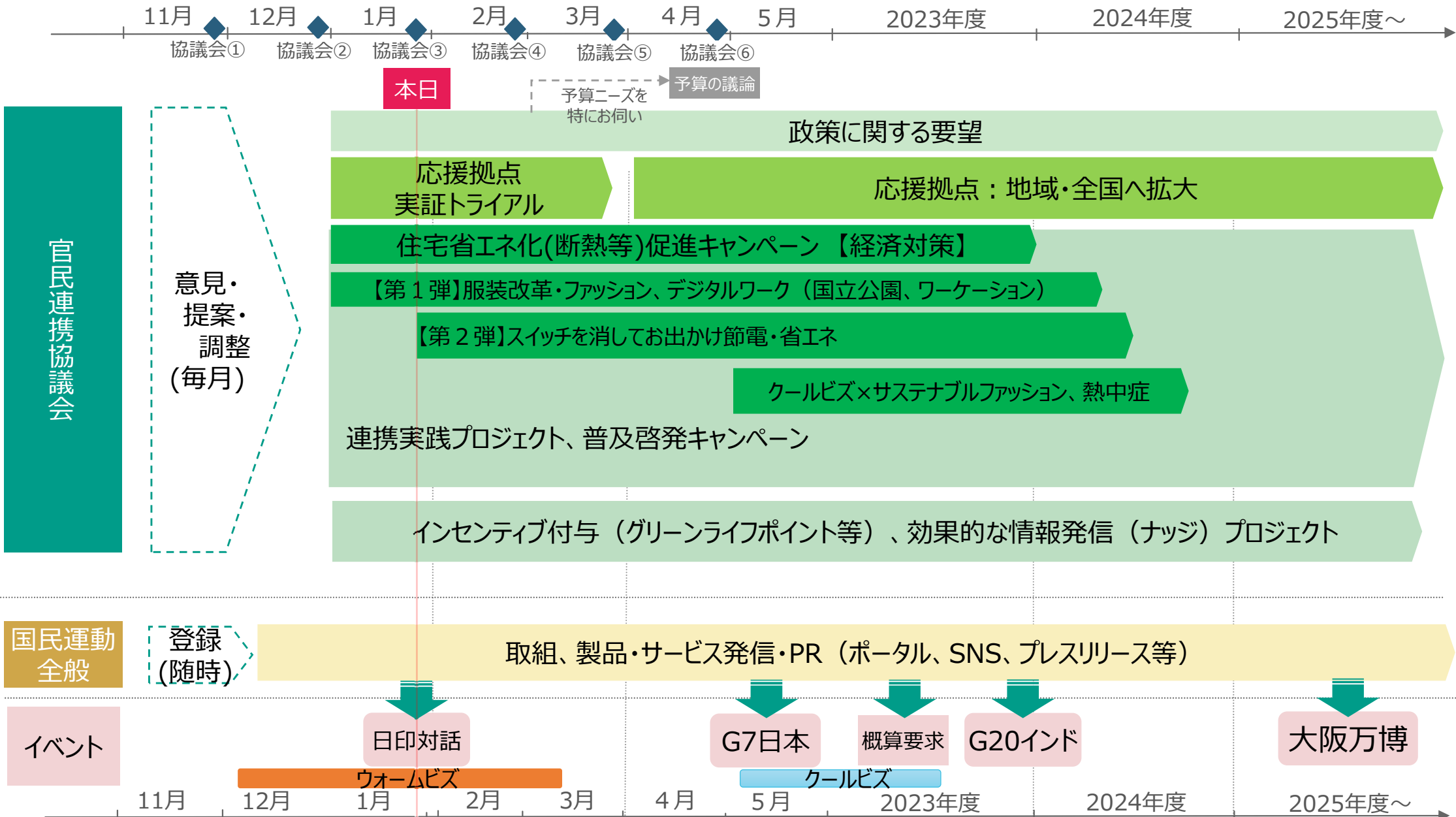
「新しい豊かな暮らし」における夏の過ごし方を是非ご提案ください

G7会合での発信・PRについて

- 事務局からメールにより協議会会員の皆様にご案内させていただきました、G7関連会合での広報展示の希望照会については、迅速にご対応いただき感謝申し上げます
 - ➡ 頂いた情報は適切に伝達いたしました

- G7 札幌気候・エネルギー・環境大臣会合（4月開催）につきましては、展示以外の発信・PRのご意見・ご要望がございましたら、このタイミングで事務局までご連絡ください

今後のスケジュール



本日のディスカッション・ポイント（到達目標の再掲）

■ 本日は、主に下記のポイントを中心に、積極的にご議論をお願いします

- （１）新規提案プロジェクトやご意見、既存プロジェクトの進捗等に関するご質問、ご意見**
- （２）新たに設定するスモールグループの運用方針等に関するご質問、ご意見**
- （３）今後のキャンペーンの動きなど政策情報に関するご質問、ご意見**
- （４）その他、国民運動・協議会全般に渡るご質問、ご意見**

ご発言を希望される方は、Zoom上で手を挙げる、もしくはQ&Aにご意見・ご質問をご送信ください
また、直前のご発言に関連してご質問等ございましたら、Q&Aに「関連」とご送信ください

第4回官民連携協議会に向けて

ご提案・ご意見等の受付

引き続き、ご提案・ご意見等の受付を実施しております

- 第4回協議会に向け、**2/8(水)**までにご提出ください
- 特に、お出かけ、クールビズ、熱中症キャンペーン、G7札幌発信PRについては、この機会に関心ありの手上げだけでも頂けると幸いです（事務局から様式をアップデートとしてお送りします）

また、本日ご紹介した各プロジェクトについて、ご参画の希望があれば、それぞれの期日までにご連絡をお願いします

第4回官民連携協議会

日時：

- 2月22日（水）10時～、オンラインで実施予定
- 今回はワーケーションの取組として、那須塩原市を拠点に開催予定

アジェンダ（現時点想定）：

- 各プロジェクトの進捗状況のご共有
- 追加のご提案のご共有
- いただいたご提案に対する対応状況のご共有
- 来年度の作業計画案のご提示・ご議論①

なお、ご参加が難しい方向けに、協議会の動画を共有させていただきます。協議会の場以外でもご意見等を承りますので、事務局までお気軽にご連絡ください

提出いただいた意見の全体像

- 全146の協議会会員の皆様から、全714件のご意見・ご提案をいただいた（1月20日時点）
- これまでに20件（前回協議会後に新たに6件）のプロジェクトが提案された

意見の提出数

提出者数	合計	146会員（うち13会員が前回協議会より追加）		
	内訳	自治体 44 (+6)	企業 66 (+4)	団体・個人 36 (+3)

提出意見数	合計	714件（うち98件が前回協議会より追加） (重複等調整後)				
	内訳	(1) 応援拠点 202 (+23)	(2) 住宅省エネ 148 (+21)	(3) ファッション 38 (+4)	(4) デジタルワーク 33 (+8)	(5) 連携実践普及啓発 52 (+8)
		(6) インセンティブ付与 50 (+9)	(7) 地域独自 34 (+2)	(8) その他の取組 62 (+8)	(9) 協議会運営 32 (+5)	(10) 国民運動全般 63 (+10)

プロジェクトの提案数

合計	20件			
	前回協議会以降、新規にご提案を承ったもの(新規)		前回協議会までにご提案を承ったもの(既存)	
内訳	6件		14件 *連携先募集終了含む	
	a: 短期(年度内)	b: 次年度以降	a: 短期(年度内)	b: 次年度以降
	4件	2件	12件	2件

プロジェクトの進捗状況の全体像

実施時期	団体名	取組テーマ	連携先募集中/ 募集終了
年度内	札幌市	応援拠点	募集中
	京都超SDGs コンソーシアム	テーマ未定	
	東北電力	インセンティブ	
	Playblue	ファッション	
	全国清涼飲料 連合会	リサイクル	
	DATAFLUCT	インセンティブ	
	NTTドコモ	インセンティブ	
	JR西日本	移動	募集終了
	那須塩原市	ワーケーション	
	東京電力	再エネ	
小田急電鉄	ワーケーション		
次年度以降	楽天	インセンティブ	募集中
	東芝データ	インセンティブ	
	損保ジャパン	ワーケーション	



2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

巻末資料

a:短期プロジェクト (1/7)

■ 他団体との連携を募っている案件への参画にご関心ある場合は、引き続き事務局までご連絡ください

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象 前回協議会からの進捗

	取組のテーマ	「場・機会」	「取組主体」 / 「製品・サービス」	（順不同）
		具体的な場	日程	取組主体（想定） 製品・サービス 等取組内容
応援 拠点	G7札幌会合の開催に合わせ、多くの市民・道民に楽しみながら最先端の環境技術や身近な取組等に触れる機会を提供し、環境に対する意識の向上や行動変容を促すためのイベントを開催	環境広場ほっかいどう2023/札幌ドーム(G7札幌会合に合わせ開催) <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービス等について、企業等のブース出展やステージイベントにより、市民・道民に広くPRする 	23年4月 15~16日	<p>札幌市</p> <p>企業</p> <p>団体</p> <p>国・他自治体</p> <p>連携先募集</p> <p>環境広場ほっかいどう2023の出展者の募集は、 2023年1月中旬から募集中</p>
	進捗状況:	決定	決定	協議会を通じ、6団体が出展検討中
テーマ 未定	SDGsに代表される環境課題について、世界の若者・学生で議論するユースサミットを開催 <ul style="list-style-type: none"> 参加者から事前に募って設定した脱炭素含む環境課題について、サミットを実施 	京都府立ゼミナールハウス「あうる京北」/オンライン（京都超SDGsコンソーシアム） <ul style="list-style-type: none"> COP3開催地・環境問題のメッカとして知られると同時に、留学生も多く世界各国からの参加者をサポートできる体制がある京都にて、2泊3日で世界の若者・学生が集う プレス待機場所や、分科会等がある場合は、京都里山SDGsラボ「ことす」を利用 	23年 3月21日 ~23日	<p>京都超SDGsコンソーシアム</p> <p>旅行会社</p> <p>企業</p> <p>NPO</p> <p>連携先募集</p> <p>上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください (期限: 2023/1/31まで)</p>
	進捗状況:	決定	決定	協議会を通じ、3団体と連携協議中

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト (2/7)

巻末資料

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

(順不同)

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

インセンティブ

お客さまへのインセンティブ（特典）付与により再生可能エネルギー電源の普及促進と地域の環境にやさしい取組み・活動を支援

- お客さま（CO2フリー電気、環境活動支援・特典）
- 地域のご支援先（活動等資金のご支援、取組み・活動の訴求）
- 当社の「三方よし」を目指す

具体的な場

ecoでんきプレミアム（東北電力）

<https://www.tohoku-epco.co.jp/renewable-energy-plan/dprivate/>

- 再生エネルギー由来する電気をオプションとして契約したお客さまのプレミアム支払を原資として、東北・新潟地域の環境にやさしい取組を支援する機会の提供（サービス自体は継続中）



日程

年度内

進捗状況:

決定

—

支援先募集中

事務局より連携した支援先候補団体数等で効果測定予定

ファッション

“洋服染め直し”の魅力発信によるアップサイクルプラットフォームの利用促進を通じたアップサイクル削減

- アパレル企業様等の滞在在庫のアップサイクル、ECサイトや実店舗にて染め直しサービスとの連携等

“服の循環を生み出す”コミュニティ形成と場の提供によるアップサイクル削減

- 古着の回収/古着の物々交換/染め直しオーダー受付などのアップサイクルの取組を通じた古着の地域循環

企業 / 自治体

- 衣類回収、古着の物々交換会、染め直しオーダー受付/アップサイクルブランドの展示/販売などにより、古着の地域循環を生み出す場を提供
- アパレル企業様等の滞在在庫をアップサイクルしたり、ECサイトや実店舗にて染め直しサービスと連携など

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください(期限: 2023/3まで)

年度内

PlayBlue

PlayBlue

衣染め直しオーダー受付・服の物々交換・服の回収（まちのクローゼット）

アップサイクルブランドの販売会・アップサイクルの啓蒙（THE UPCYCLE MARKET）

オンライン上での染め直しオーダーの受付（somete）

進捗状況:

—

—

連携先募集中

アンケートで効果測定予定

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト (3/7)

巻末資料

xx : ご提案者

xx : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

(順不同)

具体的な場

日程

取組主体 (想定)

製品・サービス 等取組内容

リサイ
クル

異物混入低減効果があるペットボトルのリサイクルボックスをG7が開催される広島市内の会場及び会場付近、宿泊施設付近の屋外飲料自動販売機横に設置し、ペットボトルリサイクルを促進

- 異物混入低減効果がある新機能リサイクルボックス（上から下ではなく、下から上に投入）により、消費者のリサイクルに関する行動変容を促進

企業 / 自治体

- 広島市内
- 屋外自動販売機横のリサイクルボックスを設置する場

23年1-3月

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/1まで)

全国清涼飲料
連合会

全国清涼飲料
連合会

屋外自動販売機横に新機能リサイクルボックスを設置

進捗状況:

—

—

協議会を通じて、1団体と情報共有済み

アンケートや、旧製品を使った場合との異物混入割合の比較等で効果測定予定

インセ
ンティブ

環境貢献活動に対するポイント付与により消費者の行動変容を促す

- 環境行動に対してポイントを付与することで消費者の行動変容を促す

becoz wallet (DATAFLUCT) 年度内

- 環境貢献に関する取組みに対してポイントを付与する個人向けポイ活サービスを提供予定
- 消費者の脱炭素行動に対するインセンティブの付与に対する企業側の返礼品供与（スポーツグッズや工場見学など）を受ける仕組みを整備

DATAFLUCT

自治体

インフラ

小売業

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/1まで)

企業、自治体、スポーツチーム等と連携した、キャンペーン型の実証実験

進捗状況:

決定

—

—

—

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト（4/7）

巻末資料

XX : ご提案者 XX : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

（順不同）

中立性・公共性を持ったプラットフォームを通じて脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を発信

- 参画者の声をより大きく伝えて国民の脱炭素認知向上



日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログ・スコアを通じ、消費者のモチベーション向上を促進

- 日々の生活の中での脱炭素接点を確保し、脱炭素に向けた意識を継続保持

具体的な場

カボニューコミュニティサイト
<https://caboneu.jp/>



- 脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を伝えていただける中立性・公共性を持ったプラットフォームを場として提供

日程

年度内
（サービスは継続中）

カボニューレコード

<https://caboneurecord.web.docomo.ne.jp/>

- 環境サービスの利用状況や移動情報などからCO2削減量や環境配慮への貢献度を見える化するサービス

取組主体（想定）

カボニュー（NTTドコモ）

企業

自治体

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、随時、協議会事務局までご連絡ください
（期限：2023/3まで、期限後も継続募集予定）

カボニューへの直接寄稿も受付中：<https://forms.gle/bEeyVUGfngzM8Mfj9>

様々な活動やストーリー、およびイベント情報を広めるメディア機能を通じて、脱炭素に係る情報が掲載され、共感できる場を提供

カボニュー（NTTドコモ）

企業

自治体

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、随時、協議会事務局までご連絡ください
（期限：2023/3まで、期限後も継続募集予定）

参加企業・団体が提供する取組での活動履歴/商品・サービスの利用履歴を脱炭素スコアで見える化し、生活者に提供

進捗状況:

決定

—

- 直接寄稿記事を一部 協議会を通じた登録団体数等で効果測定予定
- サイトに公開済
- 協議会を通じ、2団体と連携協議中

インセンティブ

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト (5/7)

巻末資料

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

取組のテーマ

＝ 「場・機会」

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

(順不同)

具体的な場

日程

取組主体 (想定)

製品・サービス 等取組内容

移動

AIを採り入れた個客選択型のデジタルスタンプラリー機能により消費行動の変容を促進

- 交通系ICカードによる公共交通利用、特定店舗や場所の来訪、特定商品の購買等の生活行動とスタンプを紐づけ
- 脱炭素に資する生活行動を定義し、様々な認証手段によりスタンプ機会に組込
- ポイント等インセンティブ付与やスタンプラリーの経過に応じたプッシュ通知等による後押し（ナッジ）より行動変容促進

移動生活ナビアプリ「WESTER」
(MaaSアプリ)

～23年1月

- 消費者に脱炭素の取り組みをアプローチでき、またその取り組みから得られたデータを活用し、成果の把握や次の改善に繋げることが可能な持続的かつ有用なツール

JR西日本

JR西日本

沿線自治体

沿線企業

デジタルスタンプラリーを通じた低炭素型の消費行動への変容の啓発と、低炭素型の消費行動に対してポイントや景品等のインセンティブ付与を通じた後押し（ナッジ）の実施
(例) 地域内の観光地や店舗への来訪や地産地消商品購入といった消費行動、公共交通での移動といった環境優位の消費行動をスマホや交通系ICカードの認証を組み合わせるスタンプを付与。コンプリート者にポイントや景品を贈呈する等

進捗状況:

決定

決定

大阪府と連携中

自家用車から公共交通機関への切り替えによるCO2排出削減量等で効果測定予定

ワーケーション

ワーケーション体験研修の開催

- 国立公園のなかで、豊かな自然を満喫し温泉を堪能しながらリラックスして働くことで、仕事の効率と質が向上
- 室内はもちろん、屋外でもつながる充実したWi-Fi環境
- ネイチャーウォーキングなど、手軽なリフレッシュプログラム
- 美味しい料理でエネルギーチャージ、のんびり浸かれる温泉で疲労回復

那須塩原市

23年2月

- 「世界の持続可能な観光地TOP100選」に2年連続選出
- 環境省「ゼロカーボンパーク」に登録された国立公園の温泉地
- 温泉熱の活用、省エネ、プラスチック削減など温泉地における脱炭素の取組を推進中
- 塩原温泉ビジターセンターでのリフレッシュプログラム
- 湯っ歩の里(日本最大級の足湯)での新しい温泉ワークスタイル

21日、22日

那須塩原市

地元観光関係者

企業

旅行代理店

体験研修モデルコースにより、足湯や旅館で、豊かな自然を満喫し温泉を堪能しながらリラックスして働く、「那須塩原 温泉ワークスタイル」を体験してください。市長、地元事業者等（旅館、アウトドア事業者）とディスカッションを行う「国立公園ワーケーションワークショップ」も実施しますので、研修にご参加ください。

進捗状況:

決定

決定

協議会を通じ、複数団体から参加申込受付

アンケート等で効果測定を予定

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト（6/7）

巻末資料

xx : ご提案者

xx : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

取組のテーマ

＝

「場・機会」

×

「取組主体」/「製品・サービス」

具体的な場

日程

取組主体（想定）

製品・サービス 等取組内容

Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーターを戸建てオーナーへ無料提供することで、既設住宅等への太陽光発電設備普及を促す

- 家庭等に向けて、創エネ、予測売電収入、補助金および導入設備に係る収支情報や、CO2削減量など統合的に提供することで、太陽光発電設備の導入意思決定をサポートしていく
- 自治体に向けて、所在地域における損益シミュレーション提供を通じ、各自治体に即した脱炭素の取組み、市民啓発等に役立てていただく

Suncle（東京電力）

<https://suncle.jp/>

- 任意の家屋に係る日射量を機械学習により解析し、太陽光発電導入収支/CO2削減量を自動算出し情報提供するツールをオンラインで提供
- 太陽光発電施工会社や設備性能などに係る情報を集約することで家計部門での検討を促進する場

サンクル
Suncle

年度内

東京電力

自治体

太陽光発電設備
メーカー

太陽光発電の地元施工会社などを掲載いただく
設備性能など導入設備に係る情報を掲載いただく

進捗状況:

決定

—

協議会を通じ、
3団体と連携協議中

協議会を通じた連携団体数等で効果測定予定

滞在先地域における地域連携の観点を踏まえた拠点整備によりワークショップを促す

- ワークショップに利用者数を増やすため、コミュニケーションをテーマに、地域のコミュニティと交流できるワークショッププランを提案

小田急電鉄

- 国立公園“箱根”の玄関口小田原をワークショップ拠点として整備
- 箱根全体の未来の環境や観光についての共創拠点を整備（次年度も含む）

2023年1-3月

小田急

小田急

企業

自治体

ワークショップのプログラム開発

進捗状況:

決定

—

—

ワークショップの参加者数で効果測定予定

再エネ

ワーケーション

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

a:短期プロジェクト（7/7）

巻末資料

xx : ご提案者 xx : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

インセンティブ

取組のテーマ

環境配慮消費・行動のクロスユースに対して、ポイントをインセンティブ付与することで環境配慮商品の魅力を発信していく

- 生活者のメリットとして経済的メリットを付与することで環境配慮型商品を体験する機会を提供し、消費マインドの変革に向けた試行試験の実施
- CO2の可視化・削減度合いに応じたポイントプログラムの搭載を想定し、新たなポイントプログラムを国内のプラットフォーム全体に展開。

＝ 「場・機会」

楽天経済圏

- CO2の可視化・削減度合いに応じたポイントプログラムの搭載を想定し、新たなポイントプログラムの検討と協議会との連携。

2023年2月～3月（第一ステップ）
2023年4月以降も継続し検証

× 「取組主体」 / 「製品・サービス」

（順不同）

楽天

楽天

低環境負荷商品の購入行動に対してポイントをインセンティブ付与

楽天経済圏のサービス及び参画されている中小事業者

低環境負荷商品/サービスを提供

進捗状況:

決定

—

協議会を通じ、3団体と連携協議中

—

2. ご提案内容（前回協議会以前に、ご提案を承ったもの）のご共有

b:次年度以降のプロジェクト（1/1）

巻末資料

XX : ご提案者 XX : 連携募集対象

前回協議会からの進捗

取組のテーマ ○ 「場・機会」 × 「取組主体」/「製品・サービス」 (順不同)

具体的な場 日程 取組主体 (想定) 製品・サービス 等取組内容

SDGsの普及啓発/実践と、
ワーケーションの組み合わせ

自治体 / 地域NPO等
・ワーケーションの受入れに
関心のある自治体

未定

損保ジャパン

損保ジャパン

ワーケーション
参加企業

ワーケーション参加者向けのSDGsの普及/実践に
関する研修パッケージ/保険の提供

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/1まで)

進捗状況:

-

-

連携先募集中

-

自治体/企業と連携し、購買
データを活用した環境配慮型
行動の普及促進

自治体/企業等
・地域通貨や各種決済手段
等との連携を通じ、買い物の
利便性向上/市民参加型の
エコへの取組等を促進

未定

東芝データ

東芝データ

電子レシートサービス・購買データの提供・活用により、
買い物における環境行動変容を促す

連携先募集

上記取組へのご参画にご関心あれば、
協議会事務局までご連絡ください
(期限: 2023/3まで)

進捗状況:

-

-

協議会を通じ、
1団体と連携協議中

-

ワーケ
ション

インセン
ティブ

お問い合わせ/ご連絡先



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会事務局
ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)

E-mail: Decarbonized@bcg.com

TEL: 03-6737-9272 (直通) ※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室

[室長] 井上 雄祐 (いのうえ ゆうすけ)

[担当] 井上 (昇)、深澤、岩本、山下

住所: 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL: 03-5521-8341 (直通)

Email: chikyu-suishin@env.go.jp

參考資料

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」とは

- 本年のG7広島サミットも見据え、脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル 転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示します



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します



来年のG7やG20等において、

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調**を提案・発信することも視野



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します

新たな国民運動の内容 ①

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします



※ 新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは環境省HP (https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/) で御確認いただけます。

新たな国民運動の内容 ②

○国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします

デジタルも駆使して、多様で快適な **働き方、暮らし方** を後押し（テレワーク、地方移住、ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らしを支える **製品・サービス** を提供・提案



2


インセンティブ や効果的な情報発信（気づき、ナッジ）を通じた行動変容の後押し
(消費者からの発信も含め)

3


地域 独自の（気候、文化等に応じた）暮らし方の提案、支援

4



脱炭素につながる新たな豊かな暮らしの全体像を**知り、触れ、体験・体感**してもらう様々な**機会・場（応援拠点）**をアナログ・デジタル問わず提供

今年度はトライアル



来年度以降、地域・全国へ




新国民運動官民連携協議会について

- 官民連携で効果的な実施につなげるため、国、自治体、企業、団体、消費者等による官民連携協議会（プラットフォーム）を、新しい国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図ります

「官民連携協議会」を立ち上げ



参加者間で協議し、以下のアクションを実施

-  デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出など消費者への効果的な訴求に向けた連携
-  各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開（グリーンライフポイント事業等）
-  政府施策への提案・要望（環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等）

官民連携協議会の位置づけ、機能

- 国民運動全体の中での協議会の位置づけ
= 国×自治体×企業×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等を事務局がサポート
➔ 皆様が“やりたいこと”を実現する場として、本協議会をフルスイングで御活用ください！

国民運動

官民連携協議会：例えば、

- 実証事業、普及啓発、実践事業・キャンペーン等の実施に対する関連予算の活用(シードマネー・呼び水的資金サポート等)
- 協議会の参画団体の皆様のご提案を踏まえた連携・マッチング
- G7/G20等におけるグローバルな発信・PRの機会の確保 など

539主体【別添】
(196自治体、220企業、
103団体、20個人)

10年後の絵姿



個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

<p>デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)</p> <p>1</p>	<p>脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案</p> <p>2</p>
<p>インセンティブや効果的な情報発信(気づき、ナッジ)を通じて行動変容の後押し(消費者からの発信も含め)</p> <p>3</p>	<p>地域独自の(気候、文化等に応じた)暮らし方の提案、支援</p> <p>4</p>

ポータル登録数:144件
(働き方・暮らし方:11件、製品・サービス:87件、インセンティブ:51件、地域:19件 ※重複有)

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

2050年カーボンニュートラル及び2030年削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするため、新しい国民運動を開始します！

脱炭素につながる暮らしの豊かな暮らしを後押しするため、国・自治体・企業・団体等が共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

提案・取組を登録しよう

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから(Google フォームが開きます)

体験・体感の機会・場（脱炭素de豊かな暮らし応援拠点）の設定

- 幅広い国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を進めるためには、
 - ① 脱炭素につながる豊かな暮らしを**具体的な製品・サービス**とともに知っていただくとともに、
 - ② 知るのみならず、**体験・体感**といった**共感**につながる**機会・場**が欠かせません

- こうした機会・場を消費者にニーズに応じて
 - ・「アナログ」（人が多く集まるショッピングモールやモデルルームなど）、
 - ・「デジタル」（メタバース、スマートフォンやアプリなど）の双方で**「脱炭素de豊かな暮らし応援拠点」**として様々設定していく考えです



- 今後の流れとしては、
 - ・今年度は、提案を基に実証事業（トライアル）としてモデル的に設定し、具体的な製品・サービスをお持ちよりいただく形で消費者訴求を試行する
 - ・そこで得られた課題等を踏まえて、来年度以降、各地域・全国に拡大させていく 予定です

➡ 「機会・場」、「製品・サービス」等を積極的に御提案いただければ幸いです